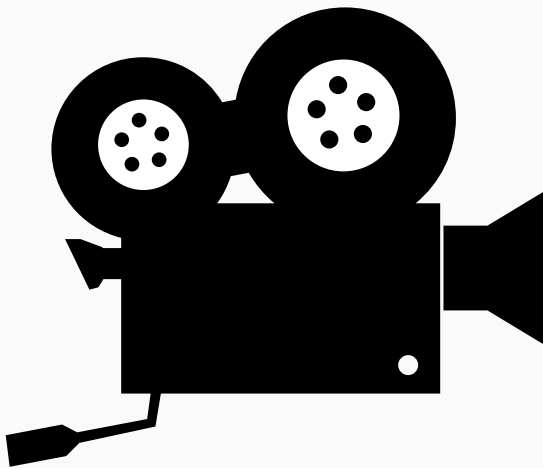


主催：NPO法人DPI日本会議

共催：NPO法人アクセptions

2025大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト連携プログラム



DPI2024年度 バリアフリー映画

「僕とオトウト」

上映会

2025年2月28日(金)15時～18時
衆議院第二議員会館 第一会議室



「僕とオトウト」について

「僕は僕で 兄ちゃんは兄ちゃん そうやって生きていってええんやで」

若き映像作家の手により、みずみずしくもヒリヒリとさせられる家族の物語が誕生した。京都大学大学院で共生人間学を学ぶ高木佑透監督が、重度の知的障害をもつ弟・壮真にカメラを向けた「僕とオトウト」。

幼いときからやんちゃな弟を守りつづけてきた兄は、その弟が大きくなりしばし親の手に負えなくなったいま、将来弟の面倒を見るのは自分しかないのではないかと思悩む。それにはまず弟のことをもっと知らなくてはならない。

こうしてカメラを通じて弟との対話をはじめた兄だが、そのさなか、弟のいたずらで事件が起きる。はたして障害をもつ弟とのあいだにコミュニケーションは成立するのか。撮る側と撮られる側、双方の成長が刻印された、“若さ”が成し遂げた映画の奇跡がここにある。

当日プログラム(予定)

15時00分 開会、主催・共催団体挨拶、来賓ご挨拶

15時15分 「僕とオトウト」上映(48分)

16時05分 休憩 15分

16時20分 トークセッション

・高木 佑透 監督

・藤木 和子(弁護士、全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会副会長)

・笠柳 大輔(DPI日本会議事務局長補佐)

・古市 理代(アクセptions理事長、障害のある子どもの親)

コーディネーター：崔 栄繁(DPI日本会議議長補佐)

17時20分 休憩 10分

17時30分 会場から質疑応答、やりとり

17時55分 閉会、挨拶

参加申込QRコード



<https://x.gd/JvZJL>

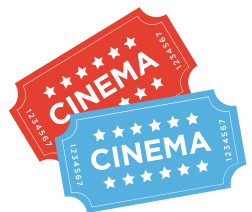
○開催方法、定員等：対面のみ、定員50～60名程度

○参加費：無料

○情報保障：手話通訳・PC要約筆記・点字紙資料・点字データ・テキストデータ

○お問合せ先：DPI日本会議(岡部・笠柳) 電話 03-5282-3730

Fax 03-5282-0017、メール office★dpi-japan.org (★→@)



この催しは、2025大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト「文化芸術における合理的配慮提供マッチング事業」と連携して実施します

開催趣旨

DPI日本会議では今年度も、障害の種別や有無、年齢、性別等を問わず誰もが文化芸術活動を享受できる社会づくりの一環として、誰もが楽しめる「バリアフリー映画上映会」を開催します。

今年度もこれまでと同様に、情報保障が必要な人のみならず、映画上映中に席を離れて動き回ったりしながら、必要な人はクッション等を持ち込んで横になりながらでも観賞できる、誰もが一緒に楽しめるインクルーシブな上映会として企画しています。

今回の上映作品の「僕とオトウト」。障害当事者、兄弟姉妹、障害のある子どもを持つ親、「障害」を取り巻く様々な立場から、どんな人も排除されないインクルーシブな社会を作るにはどうすればいいかを考える機会としてたいと思っています。映画上映の後には本作品の監督などによるトークイベントを行い、深掘りしていきたいと思ひます。

登壇者のご紹介

○高木 佑透 (たかぎゆうと) (監督)

1995年、香川県生まれ。知的障害のある弟がいる。大学3年生の時に起こった相模原障害者施設殺傷事件をきっかけに『『障害』や『障害者』、『きょうだい』とは何か』という問いを持ち、映画の制作や、障害学や質的心理学の研究に取り組むようになった。現在はテレビ局で勤務しつつ、京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程で研究を続けている。

○藤木 和子 (ふじきかずこ)

耳が聞こえない弟と育つ。手話通訳士。進路・結婚できょうだい特有の悩みに直面したのを機に、きょうだい会に参加。著書『きょうだいの進路・結婚・親亡きあと』(中央法規出版)他。

○古市 理代 (ふるいちみちよ)

2004年に生まれた息子にダウン症がありNPO法人アクセプションズに参加。最近読書バリアフリー推進活動にも力をいれ、本業とNPO活動の平行キャリアを進行中。監修本「りんごの棚と読書バリアフリー1」(フレーベル館)が重版決定。

○笠柳 大輔 (かさやなぎだいすけ)

先天性の徐々に筋力が低下する障害「シャルコー・マリー・トゥース症」を持つ。DPI日本会議では広報・マーケティングやイベント運営などを担当。2023年にはダスキン障害者リーダー育成海外研修制生として、アメリカで1年間障害者団体のファンドレイジングの調査を行う。

○崔 榮繁 (さいたかのり) (コーディネーター)

神奈川県生まれで、現在、群馬県人。DPIスタッフ25年目。明治大学法学部比較法研究所客員研究員などとして、海外の障害者法制度を調査研究中。

表面のウェブフォームからお申し込みが難しい方は「お名前(ふりがな)、電話番号、メールアドレス、所属団体(あれば)、情報保障(PC要約筆記、手話、点字資料、点字データ、テキストデータ)、車いす使用の有無、介助者の人数」をDPI事務局笠柳(kasayanagi★dpi-japan.org(★→@に変えてください))までご連絡ください。

2025 大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト

このプログラムは、「令和6年度日本博2.0(委託型)」の事業として、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会と障がい者の芸術文化活動推進知事連盟、自治体と連携して実施します。国内外の障害者をはじめ、誰もが・いつでも・どこでも障害者の芸術文化にアクセスできる「文化芸術ユニバーサル・ツーリズム」を目指しています。

そして、2025年の大阪・関西万博開催時には、国内外の障害者が、万博をゲートウェイとして全国津々浦々に足を運んでいただきたいと考えています。



日本博2.0

「日本博2.0」は、2025年日本国際博覧会に向けて、日本の美と心を体現する我が国の文化芸術の振興及びその多様かつ普遍的な魅力を発信する国家プロジェクトです。

主催：一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
企画制作：共同創造コンソーシアム

—Co-Creation with All Peoples—

協力：障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク

連携・協働：障がい者の文化芸術活動推進知事連盟
委託：令和6年度日本博2.0事業(委託型)

